

## 2020 年度 児童発達支援 自己評価表 (事業者)

事業所名：児童発達支援事業所 ぶどうの樹 未来塾

サービス形態： 児童発達支援事業

評価実施日： 2021 年 3 月 24 日

回答者： 10 名

チェック項目	回答	改善目標、工夫している点 など
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい 2 名 どちらともいえない 7 名 いいえ 1 名	
職員の配置数は適切であるか	はい 2 名 どちらともいえない 7 名 いいえ 1 名	新年度に向けた雇用に伴い、研修も兼ねて多めに職員配置している
事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい 8 名 どちらともいえない 2 名	
業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	はい 7 名 どちらともいえない 3 名	
保護者等向け評価表により、保護者等に対して事	はい 8 名	

<p>業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p>	<p>どちらともいえない 2名</p>	
<p>事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p>	<p>はい 8名 どちらともいえない 2名</p>	
<p>第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p>	<p>はい 4名 どちらともいえない 3名 いいえ 3名</p>	<p>未実施</p>
<p>職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p>	<p>はい 7名 どちらともいえない 2名 いいえ 1名</p>	
<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p>	<p>はい 8名 どちらともいえない 2名</p>	
<p>子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>	<p>はい 5名 どちらともいえない 4名 いいえ 1名</p>	

<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>	<p>はい 7名 どちらともいえない 3名</p>	
<p>児童発達支援計画に沿った支援が行われているか</p>	<p>はい 9名 どちらともいえない 1名</p>	
<p>活動プログラムの立案をチームで行っているか</p>	<p>はい 4名 どちらともいえない 5名 いいえ 1名</p>	<p>園外活動を計画するなどしている</p>
<p>活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか</p>	<p>はい 7名 どちらともいえない 2名 いいえ 1名</p>	
<p>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか</p>	<p>はい 10名</p>	
<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	<p>はい 8名 どちらともいえない 2名</p>	

いるか		
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	はい 10名	毎日終礼を行い、その日の出来事や問題点等について話し合う機会が設けられている
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい 8名 どちらともいえない 2名	
定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	はい 8名 どちらともいえない 2名	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通して最もふさわしい者が参加しているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	
医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	はい 8名 どちらともいえない 2名	

医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	はい 10名	
保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい 10名	
小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	
他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい 6名 どちらともいえない 4名	
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	はい 6名 どちらともいえない 4名	未来塾に併設する保育所の児童と交流する機会がある
（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	はい 4名 どちらともいえない 3名	コロナの為、交流できていない

	いいえ 3名	
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい 9名 いいえ 1名	送迎時や個別療育終了時に保護者と話す機会を設け、振り返りを行っている
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	はい 1名 どちらともいえない 9名	
運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい 10名	
児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい 8名 どちらともいえない 2名	
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい 10名	
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援してい	はい 5名 どちらともいえない 5名	・コロナ禍に伴い回数減少 ・感染対策をした上で茶話

るか		会や遠足などを開催し保護者間の交流を促している
子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい 10名	
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい 10名	
個人情報の取扱いに十分注意しているか	はい 10名	
障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい 3名 どちらともいえない 4名 いいえ 3名	コロナ禍のため出来ていない
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	はい 10名	

非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	はい 9名 いいえ 1名	
事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状 況を確認しているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	はい 5名 どちらともいえない 4名 いいえ 1名	
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか	はい 10名	ヒヤリハット報告書作成 後、部署内で検討・情報 共有している
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	はい 10名	
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に 十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計 画に記載しているか	はい 9名 どちらともいえない 1名	